

1. 昭和39年分所得税の改正と予定納税

(1) 各種控除が引上げられ所得税の負担が軽くなりました。

重な諸控除額

基礎控除額 117.500円

配偶者控除額 108.800円

扶養控除額

(イ) 15才以上 50.000円

(ロ) 14才及13才 46.300円

(ハ) 13才未満 38.800円

専従者控除額イ、青色申告者の場合

(イ) 20才以上 143.800円

(ロ) 20才未満 113.800円

ロ、白色申告者の場合 86.300円

給与所得控除額

給与所得の収入金額の合計額が

イ、417.500円までの場合 収入金額×20%+14.000円

ロ、417.500円をこえ717.500円までの場合

収入金額×10%+55.750円

ハ、717.500円をこえ817.500円までの場合

収入金額×7.5%+73.688円=817.500円をこえる場合 135.000円

(2) 39年分所得税の予定納税額の通知書に記載されている第1期分及び第2期分の予定納税額は39年分の申告納税額を基として、諸控除の引上げによる減税相当額を織り込んで計算してあります。

2. 所得税の減額申請について

雇業、休業、失業、災害、盗難、横領による損害や医療費の支出、業況不振、扶養親族の増加などのため「予定納税基準額」より少なくなると見込まれる場合は、減額申請を提出することができます。

減額申請は原則として6月1日の現況で6月30日までにしなければなりません。

新緑の候町民の皆様には愈々御清祥のこと、お喜び申上げます。戦歿者慰靈塔建設につきましては、予て格別の御高配を辱うし

町内一、八〇〇名の方より壹百拾萬円。御蔭をもちまして多年

萬円の御寄附を頂き誠に有難うございました。(寄附者御芳名は塔建設現場に掲示させて戴いております)建設費総予算貳百五拾萬円。御蔭をもちまして多年

忘れなく毎年六月三十日までに前年の分の所得状況届を役場に出していたがねばなりません。この所得状況届が出されま

せんと次回からの年金の支払が

困ることになりますから六月三

十日までに国民年金証書と印鑑を持って役場住民課に行き届け

◎ 転居届は、国民年金も忘れずに

◎ どの制度からもできる

年金

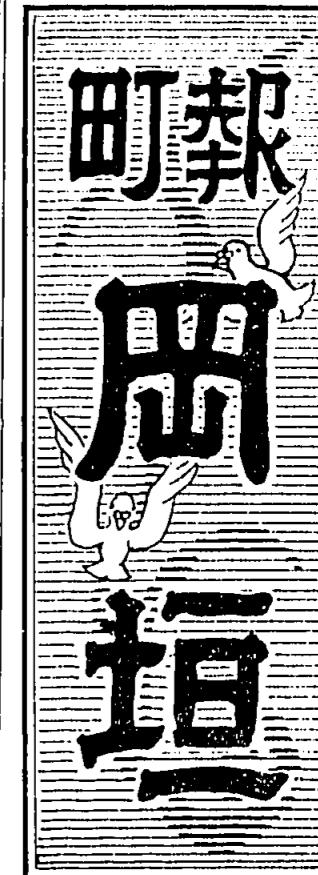
拠出制国民年金の発足で我国でも国民皆年金の時代に入りました。これによって二十才以上の国民は必ず何かの公的年金制度によって保障が受けられるようになりました。ところがわが国

の公的年金制度は、その人の職業によっていろいろ異った制度に加入することになっており、しかもこれらの制度から老令年金を受けるには、二十年あるいは二十五年という長い資格期間が必要としています。そのためこれらが必要期間をみたさないまゝ転職などで他の制度に移つてしまえば年金が受けられないという場合もあつたわけです。こうした不合理をなくすために通算年金制度ができるこれらの各

加入期間に応じた額の年金がで

目 次

- 岡垣町戦歿者慰靈塔建立御協力御礼 1 頁
- 昭和39年分所得税の改正と予定納税 1 頁
- 所得税の減額申請について 1 頁
- 「福祉年金」の定時届は、はやめに 1~2 頁
- 造林地下草除草剤について 2 頁
- 写 真 展 2~3 頁
- 水稻害虫航空防除について 3 頁
- 青 年 团 活 動 3~4 頁
- 婦 人 会 活 動 4 頁
- 花 い ぱ ぱ い 心 に 愛 い ぱ ぱ い 4 頁
- 牧 神 社 4 頁



發 行 所
岡 垣 町 役 場
責 任 者
岡垣町長 俵口 静江

印 刷 所
有限会社 大和印刷所
電話 東郷 27番

一日大安の日に除幕入魂の式典を盛大に執り行なわせて戴きました。戦歿英靈もさぞかし御冥福のことを存じます。これも偏に町民の方々の心からなる御協力の賜と衷心より御礼と御報告申上げます。

町民挙げての念願でありました慰靈塔建設工事も町民の皆様を始め芦屋自衛隊の方々の御協力により無事完了し去る五月三十

岡垣町社会福祉協議会長 俵口 静江
岡垣町戦歿者慰靈塔建設委員長 加藤 健次

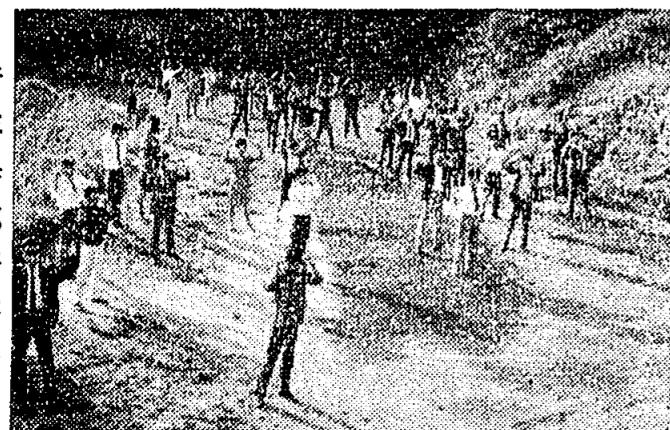
◎ 「福 祉 年 金」 の 定 時 届 は は や め に

を出すようにいたしましょう。

◎ 転居届は、国民年金も忘れずに

岡垣町社会福祉協議会長 俵口 静江

岡垣町戦歿者慰靈塔建設委員長 加藤 健次



青年團活動

にかけ、皿倉山の野営訓練所で、遠賀郡青年団の幹部研修会があり、岡垣からも二十名位参加し、活発な討議が繰り返された。その中で「青年団は必要だ」という意見が全部だったし、昨年の輿論調査でも、殆んどの人が「青年団の必要性を認めている」のに、何故岡垣町の青年団員は一三〇名位に減っているのだろうか。これは全国的な傾向で理由は色々ある。ここで羅列するまでもないだろう。

ただ一つ「青年団に魅力がな

◎活動の実績と予定

一クル（趣味の会）	に分れ、	活動
農業	リーダーの連絡先	しようということになり
体育	高山虎之助、野間	
登山	野田幹夫	
ダンス	糠塚	
カメラ	二村泰穎	
石田義顕	麻生妙子	
に分る。	東海老津	
	東海老津	
	戸切	

水稻害虫航空防除について

昨年始めて水稻害虫防除のため、ヘリコプターによる航空防除を実施したところ、その効果が大変良好であったため、本年も是非実施して欲しいと云う要望が多くあった。そこで本年も下記の要領で再び航空防除を実施する計画である。

昨年度の散布面積は、水田307.23ha、公用地（畦畔、堤防、河川、道路等）53.77ha合計361haであったが、本年は昨年実施しなかった原、上戸切が実施にふみ切り、高倉、矢口の一部追加等で約420ha程度散布の予定である。

最近に於ける農業労働力の極端な不足や、防除効果を徹底させるためには、こうした大型防除による外に方法はなくなるものと考えられる。

尚近隣の遠賀町、芦屋町、水巻町、中間市と本町を一防除区劃として2,000ha余りを一齊に防除する計画で更に防除効果があがるものと思われる。

記 実 施 要 領

- | | |
|---------|--------------------------------------------------------------------|
| 1、目的 | 水稻うんか、二化めい虫（一世代）を短期間に、効率的に撲滅し防除の完璧を期す。 |
| 2、趣旨 | 防除作業員の不足から防除日数が長引き過期防除が行なわれない現況にかんがみ、畦畔、堤防、河川、道路等の棲息源を徹底的に一斉に防除する。 |
| 3、施行者 | 岡垣町航空防除協議会 |
| 4、実施期日 | 7月4、5、6日三日間 |
| 5、散布区域 | 原、内浦、手野、新松原、三吉、吉木、元松原、高倉、野間、上、下戸切。 |
| 6、使用薬剤名 | S、B粉剤(濃度B、H、C 3%，セビン 1%) |
| 7、散布量 | 10a 当り 3kg |

8、ヘリポートの位置

ヘリポート順位	実施予定期日	設置予定場所	対象地域
1	7月4日	手野	原、内浦、手崎、新松原、三吉
2	5日	吉木	元松原
3	6日	高倉	野間
4	6日	戸切	上、下戸切

以上は天候、その他の理由で変更することも考えられます。

- 9、使用航空機 大阪航空K、K BELL47型ヘリコプター
一機

10. 危害防止

注意事項

1、一般的注意

- ① 飲食物、食器類は薬剤のかからないよう注意し、井戸及び、水がめにはビニール、セロハン等で覆いをする。
 - ② 食料品販売業、飲食喫茶店、染色、洗張、小鳥の飼育、みつばちは被害をうけないよう注意する。
 - ③ 小鳥類は屋内に入れ、薬剤がかかったと思われる野菜、又は家畜類の牧草類はよく水洗してから使用すること。
 - ④ 散布後住居その他必要な箇所は清掃すること。
 - ⑤ 散布実施中はヘリコプターに注意すること。
 - ⑥ 本剤は医薬用外毒物であること。
 - ⑦ 密蜂は屋外に出ないよう処理すること。

2、作業員及び耕作者注意

- ① 作業員はマスクをかけ、手袋をはめること。
 - ② 作業中は煙草をすわないこと。
 - ③ 食事をとるときは、顔及び手を石けんで洗うこと。
 - ④ 耕作者は防除作業前には一齊に排水すること。
 - ⑤ 薬剤散布中の農作業はさけること。

3、ヘリポートの注意

危害防止、火災予防のため、ヘリポートでの関係者以外の立ち入り禁止、禁煙を行なうこと。 (農業振興課)

附
記

- 入賞と賞品

一人五点以内提出

特選一点 (カラーフィルムと
白黒フィルム)

一等二点 (カラーフィルム)

二等四点 (白黒フィルム二本
ずつ)

三等八点 (白黒フィルム一本
ずつ)

附記

1、入賞した写眞のフィルム

青年団の目的は「青年の生活を高めること」だと日青協ではっきりきめているが、現代の複雑な社会機構の中でふりまわされている青年にとり、青年団は、憩の場であり、ダベリ合いの場であり、歌い踊り、みんなでスポーツを楽しむ場でもある。その外、豊かな経済生活を営むために、又健康な文化を創造する為、自己研修の場として、もう一度青年団を見直すことは出来ないだろうか。

- △四月二九日若杉山登山
- △四月三〇日農業グループ研究
- △五月一日登山部打合、後六時
- △五月一三日支部長会
- △五月一七日卓球大会
- △五月二〇日生花講習
- △五月二五日「わかあゆ」発行
- △五月三〇日三一日幹部研修
- △六月一日登山部打合
- △六月五日、ダンス講習
- 先生に来てもらい新曲練習
参加三十名
- △六月六日農業グループ研究
- △六月七日福智山登山
- △六月二〇日生花講習、於保育園
次は六月一七日の予定
- △六月一四日レコードコンサー

（前頁より）

一カ月間垣町公民館に
募集期間 十月一日より同末日
まで

応募題材 壇垣町観光宣伝にな
るもの、史蹟、名勝、風俗、習
慣等

応募基準 サイズ 手札型以上
一人五点以内提出

入賞と賞品

特選一点 (カラーフィルムと
白黒フィルム)

一等二点 (カラーフィルム)

二等四点 (白黒フィルム二本
ずつ)

三等八点 (白黒フィルム一本
ずつ)

附 記

1、入賞した写真のフィルム
は公民館に提出のこと

2、入賞した作品以外は本人
に返還、

△四月二九日若杉山登山

△四月三〇日農業グループ研究

△五月一日登山部打合、後六時

△五月一三日支部長会

△五月一七日卓球大会

△五月二〇日生花講習

△五月二十五日「わかあゆ」発行

△五月三〇日三一日幹部研修

△六月一日登山部打合

△六月五日、ダンス講習

△六月六日農業グループ研究

△六月七日福智山登山

△六月二〇日生花講習、於保育園

次は六月一七日の予定

△六月一四日レコードコンサー
ト

△六月一九日、七月三日ダンス
講習予定

青年団の目的は「青年の生活
を高めること」だと日青協では
はつきりきめているが、現代の
復雑な社会機構の中でふりまわ
されている青年にとり、青年団
は、憩の場であり、タベリ合いの
場であり、歌い踊り、みんなで
スポーツを楽しむ場もある。
その外、豊かな経済生活を営む
ために、又健康な文化を創造す
る為、自己研修の場として、も
う一度青年団を見直すことは出
来ないだらうか。

（以下次頁へ続く）

(前頁より)

現在岡垣町の青年団に加入している人は、幾つものグループに加入してよいのは勿論だが、岡垣町青年團に加入していない人でも、個人個人で結構ですか

一度のぞきにお出下さい。

連絡先、岡垣町公民館
團長 小早川真義
副團長 二村泰穂 麻生妙子
編集部長 三小田泰清

婦人会活動

婦人会はいろいろな活動を通じて社会教育を行ない、会員相互の力で自己研修を行なうと共に、よりよい郷土を作るため、努力する團体であり、婦人会の基本的な事業の一つである婦人学級は、婦人達が生活に直結する具体的な課題を學習することにより生活を一步でも高めようとする場であります。

その意味で、岡垣町婦人会は次のような活動を続けています

△四月七日 幹部会

△四月九日 俳句グループ会

△四月十日 支部長会

△四月十一日 役員初顔合せ

△四月十七日 支部長会

△四月十七日 新生活運動講習会

△四月十八日 幹部会

△四月二十三日 総会

△五月一日 中央婦人学級

△五月二十日 「話し合い」につき研究会

△五月一日より日赤募金

△五月九日 郡婦人会総会と教養講座

△五月二四日 球技講習会

△五月二九日 N H Kから来てもらひ「テレビと雑誌」につき話合い

△五月二十九日 支部長会

△六月六日 バレー実技講習会

△六月八日 俳句グループ会

△六月十日 料理講習会

△六月十二日 花苗分譲

昭和三九年度の努力目標に

① 支部活動の充実強化
② 新生活運動を推進する
③ 母親の集団として青少年

年を守るため教養の向上に努める
と掲げられています。

会員全員の教養を高められ、生

花いっぱい

活が向上されるよう、支部活動を充実強化して頂きたい。それには支部長さんだけに責任をかぶせるのじゃなく、お互い研究して頂きたい。公民館も婦人会幹部も協力を惜しみませんのでどしどし利用されるよう。

花いっぱい運動は、美しい花を咲かせ、花を見、見せて、お互いの心に愛の花をいっぱい咲かせる運動です。我々は生花を見、いけることにより美を感じ、心の落着き、安らぎ、なごやかさを感じるものですね。

子供でも大人でも物を愛し、自然に親しむ心は、隣人を愛し、友と手を組み、争いのない世界平和の道に通じます。形から心へ、心から形へ、それが花一杯運動です。

花いっぱい運動も新生活運動です

それで花いっぱい運動をやる場合には、新生活運動の主旨、性格等を十分理解し、常に話し合いと実践をくりかえされるようお願いします。

婦人会では 手野の花田

満氏の御好意により、十月咲く優良菊苗を分けて頂き、作り方の説明をうけ、岡垣中が花いっぱいになるよう、苗作りに精を出してもらっているが、新生活運動は集団で活動しなければ意義が薄れるので、区(戸主会)でも、青年団、子供会、職域、隣組等グループで推進して頂きたい。

岡中の校長先生の話では、庭園を美しくし、花を咲かせておれば、花を摘みとる生徒はいないと、花を育てる心に愛が芽生え、情緒の涵養には大きな力があると思われます。

花いっぱい運動を通じ、人作り、仲間作り、町作りに寄与して頂きたい。

牧神社

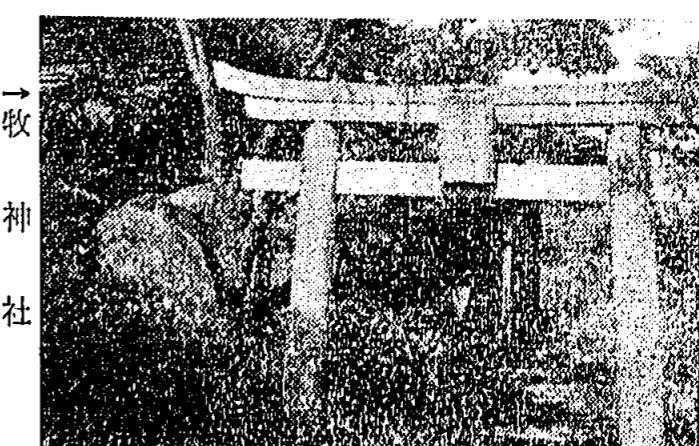
湯川五階屋の先の採石場上(小字は馬掛原だが馬頭原の誤だらう)に景石神社という小さなお宮がある。祭神は市杵島姫命。祭日は六月九日だが、この社の北海岸に奇石が鼻(景石が鼻)という切り立った崖がある。昔宗像郡須恵の人が、そこの氏神様福足神を広島の厳島から迎えた時、神靈がこの奇石が鼻から上られ、その荷物もこゝから上

げたので、現在でも毎年六月九日の早朝には、須恵の人々が来て磯の小石を岩の上に上げている

牧神社(祭神不詳)は元、湯川山の牧場跡に祀ってあったのを、大正三年前記の景石神社内に祀りした。



→西黒山 春日神社



→牧 神 社

いる。

俗説にこの牧場は太古よりあり、名馬を多く産出した。かの有名な宇治川の先陣争いの樅原源太景末の乗馬柵馬は、この湯川

山牧場で産出したもので、柵馬は戦後自分の主人も戦死してしまったので、自分の育った湯川山が恋しくなり、はるばる帰つて来、牧山(湯川山)を見、安堵したのか西黒山で力尽きてたおれで了つた。それで西黒山の春日神社に祀りし、牧大明神としまつてゐる。最近まで牛馬の神様としてお籠りがあつた。

この柵馬が西黒山に帰つて来るを踏んで泣いたら蹄の跡がついたといふ、徑一米位の大石に蹄の形の穴のついた石が、湯川の牧神社境内にある。

(宇治川の先陣争いは今から七七〇年前だが、その後長く牧場は廃止されていたのを、寛政年間(三三〇年前)再開、文化(二四〇年前)の末廃止する最近まで湯川、波津、原の人々がこの牧場に草刈りに行つていたと。今は杉木立になつてゐる。(遠賀郡誌より)



←馬の蹄の跡

でも知つてゐるが、山の北にあり牧場の広さは東西に二千五百米南北に二千米湯川山の頂上から原の方に下りて来る道の横に當時の空堀が見えんと続いて